

目指す姿	① 在宅医療・介護の支援の基盤が整備され、切れ目のないサービスが提供できる ② 在宅医療・介護に携わる職員の連携体制が構築され、研修等を通して資質の向上が図れる ③ 在宅医療・介護について、市民に適切な情報が周知され、看取り等も含めて市民の理解が進む
------	---

	事業名	令和5年度事業報告	令和6年度事業計画(案)
地域支援事業 （在宅医療・介護連携推進事業）	地域の医療・介護の資源の把握	【在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議】 第1回 令和5年7月7日(金) 議題: 令和5年度印西市在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業計画について 第2回 令和5年10月27日(金) 議題: ①印西市の認知症施策および令和5年度事業について ②印西市認知症初期集中支援チームの活動報告について 第3回 令和6年3月8日(金) 議題: 令和5年度印西市在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業報告及び令和6年度印西市在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業計画(案)について	【在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議】 在宅医療・介護連携の継続的な現状把握と課題抽出及び地域住民への普及啓発に関して年度内に2回協議及び検討を行い、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を推進する。また、認知症初期集中支援チームの活動報告及び活動の方向性を検討する内容を年度内に1回開催し、認知症になっても安心して地域で暮らし続けることができる支援体制の構築を推進する。 (開催予定の時期)6月・10月・3月
	【概要】 医療機関や介護事業所等の住所や連絡先、機能等を把握、リストやマップ化し、関係者で共有する 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	1. <u>在宅医療・介護の支援の基盤が整備され、切れ目のないサービスが提供できる</u> (1)「介護と医療サポートガイド」の更新・周知方法の検討(包括、訪問看護ステーション会議、認知症対策チーム等で見直し、改訂。) 令和6年3月に1,200部発行。市民に周知するため専門職だけでなく市民が活用できる内容に改訂。 ・医療機関・歯科・薬局にアンケートを実施。サポートガイドへ掲載同意した医療機関等のみ一覧に掲載。 ・訪問診療一覧に市外の医療機関*を追加。(※印西市内へ訪問診療可能な医療機関) ・表紙デザインを一新。「介護と医療サポートガイド」の名称に副題追加及び診療風景の画像等を挿入。 ・特集ページを追加。市内在住の在宅療養ケースを取材し、掲載。 (2)医療・介護に係る関係者の情報共有による入退院支援 ・入院時に病院・居宅介護支援事業所がスムーズに連携できるよう認定者に送る通知に、連携に関するお知らせを同封。 ・検討課題であった市独自の情報連携シートは作成せず、加算対象となる千葉県地域生活連携シートを活用していくこととする。連携や情報共有に関する課題については、医療・介護に係る関係者の研修等の機会の確保や地域ケア会議等を活用した課題検討を行っていく。 (3)救急医療情報キットの利用促進 ・救急医療情報に係る課題の検討会(5/31)への出席。(救急イベント(9/9)は参加予定であったが、悪天候により中止。) ・民生委員に救急医療情報キットの周知依頼。ケアマネ研修(3/18)で周知予定。 (4)認知症ケアパスの更新 認知症に関する事業や医療機関情報等を更新し、認知症ケアに役立つものに改訂。また、本人用に試作したケアパスについて、その内容や活用方法の検討を進めた。 (5)認知症初期集中支援事業の周知 事業の対象者や活用方法について多職種連携交流会等で居宅介護支援事業所等に周知した。	1. <u>在宅医療・介護の支援の基盤が整備され、切れ目のないサービスが提供できる</u> 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築に向けて必要となる取り組みを行う。また、医療・介護事業者からの相談窓口を市に設けているため、引き続き相談に対応していく。 (1)「介護と医療サポートガイド」の周知・配布 令和6年3月に発行したサポートガイドをホームページに掲載する。また、関係機関や市民に周知、配布する。 (2)救急医療情報キットの利用促進 関係機関と協力して救急医療情報キットの周知を行う。 (3)認知症ケアパスの更新 認知症に関する事業や医療機関情報等を更新し、認知症ケアに役立つものに改訂していく。また、本人用ケアパスを試用し、必要性や活用方法などを検討する。 (4)認知症初期集中支援事業の周知 事業の対象者や活用方法について居宅介護支援事業所等に周知し、初期集中支援が必要な方に確実に利用されるよう取り組みを行う。
	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築促進	2. <u>在宅医療・介護の職員の連携体制が構築され、研修等を通じて、資質向上が図れる</u> (1)多職種連携研修会の開催(交流会という名称で開催) 会場:印西市役所 大会議室 ①講話:「認知症の早期対応の有効性と連携について」 講師:日本医科大学千葉北総病院 認知症疾患医療センター 齋藤 多恵子 氏 ②グループワーク:認知症支援について 第1回 令和5年6月19日(金)14時-15時45分 参加者:53名(包括8名・訪問看護5名・薬局9名・ケアマネ13名・通所介護14名・訪問介護0名・訪問リハビリ1名・デイケア1名・医療連携室1名・警察1名) 第2回 令和5年12月15日(金)18時15分-20時 参考資料1 参加者:33名(包括4名・訪問看護3名・薬局7名・ケアマネ7名・通所介護3名・訪問介護3名・訪問/通所リハビリ1名・医療連携室1名・警察0名・歯科研修医4名)	2. <u>在宅医療・介護の職員の連携体制が構築され、研修等を通じて、資質向上が図れる</u> 地域の医療・介護関係者の協働・連携を深めるため多職種でのグループワーク等で研修を行う。 (1)多職種連携研修(交流会)の開催 多職種それぞれの役割や考えを理解し、円滑な連携に繋がることを目的とした顔の見える関係づくりの場とするため今年度も「交流会」として開催する。開催の時間帯や内容についても検討し、より多くの職種が参加して活発な意見交換ができるよう検討する。 (開催予定時期)7月・12月
	【概要】 地域の医療・介護関係者が参加する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討する	3. <u>在宅医療・介護について、市民に適切な情報が周知され、市民の理解が進む</u> (1)印西市在宅医療・介護市民講演会の開催 令和5年10月29日(日)13時30分-16時 会場:文化ホール2階多目的室 参考資料2 テーマ:自分で選ぶ!在宅療養という選択~あなたは人生の最期をどこで過ごしますか~ 参加者:80名(うち関係者11名) ①講演:「在宅医療」 講師:印西総合病院院長 永井 雅巳 氏 ②市民による在宅療養の体験談 座長:千葉新都市ラーバンククリニック院長 河内 雅章 氏 アドバイザー:印西総合病院院長 永井 雅巳 氏・印西総合病院看護部長 日南田 ひとみ 氏・フレンズ印西所長 杉山 光枝 氏 JA西印旛介護サービス居宅介護支援事業所 高橋 裕一 氏 (2)「介護と医療サポートガイド」の更新・周知方法の検討 <1-(1)参照> (3)認知症に対する正しい知識の普及 ・認知症サポーター養成講座 <小学生・市民・市職員など対象> (小学:16校 1,124名 市民:158名 市職員:30名) ・知って安心認知症予防出前講座 (3回開催 延べ受講人数 43名) ・認知症メモリーウォーク in いんざい(11/11 会場:イオンモール千葉ニュータウン 参加者:37名 認知症疾患医療センター(日医)後援)	3. <u>在宅医療・介護について、市民に適切な情報が周知され、市民の理解が進む</u> 市民が在宅療養について理解を深め、必要なサービスが適切に選択されるよう講演会やパンフレット(介護と医療サポートガイド)を活用して周知する。 (1)印西市在宅医療・介護市民講演会の開催 自分や家族の我が事として考えられる機会とするため、開催方法・内容等を検討した上で、講演会を開催する。 (開催予定時期)10月 (2)介護と医療サポートガイドの周知・配布<1-(1)参照> (3)認知症に対する正しい知識の普及 認知症についての正しい知識を広め、地域において認知症の人およびその介護者を温かく見守り、支援できる人を増やすため、認知症サポーター養成講座や認知症に関する出前講座などを実施していく。「共生社会の実現を推進するための認知症対策基本法(令和5年8月公布)」に、認知症の日(9/21)及び認知症月間(9/1~9/30)と定められたことから、その期間を中心に認知症に関する関心と理解を深めるための周知啓発を行っていく。
	医療・介護関係者の情報共有の支援		
	【概要】 ◆情報共有シートや地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援していく ◆在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用する		
	在宅医療・介護連携に関する相談支援		
	【概要】 在宅医療・介護連携に関する相談窓口を設置・運営し、市民や地域の医療・介護関係者からの相談の受付を行う		
	医療・介護関係者の研修		
	【概要】 多職種で連携に関してや事例検討等の研修を行う		
地域住民への普及啓発			
【概要】 在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護への理解を促進する			
		(4)市外から印西市へ訪問診療可能な医療機関についての周知方法を検討する。 1-(1)参照 4. <u>その他</u> (1)「わたしノート(エンディングノート)」の周知 ホームページや講演会などで周知し、配布した。	

